



2027 年度 創価大学大学院

博士前期課程・修士課程

[入試要項]

一般入試・学内選考試験・特別学内選考試験

経済学研究科
法学研究科
文学研究科

経済学専攻
法律学専攻
英文学専攻
社会学専攻
人文学専攻
国際言語教育専攻
教育学専攻
国際平和学研究科 国際平和学専攻

教育学研究科

国際平和学研究科

目次

I	<博士前期・修士課程> 入学試験概要	3
1.	募集研究科・専攻・募集定員	3
2.	入学試験日程	4
3.	出願の流れ・方法	6
4.	出願上の注意事項	6
5.	試験会場	7
6.	合格発表	8
7.	入学手続（入学金・学費等）	8
	【入学手続きにおける共通の注意事項】	9
	【経費支弁について（外国籍を保有する留学生のみ）】	10
II-1	<入学試験制度> 博士前期／修士課程：学内選考試験	11
II-2	<入学試験制度> 博士前期／修士課程：特別学内選考試験	12
II-3	<入学試験制度> 博士前期／修士課程：一般入学試験	14
III	学内選考・特別学内選考・一般入学試験 【共通事項】 博士前期／修士課程	16
1.	出願書類	16
2.	検定料: 33,000 円+決済手数料	18
3.	経済学専攻・国際言語教育専攻・国際平和学専攻における出願時必須事項	18
4.	選考試験科目・時間帯	25
	●経済学研究科 経済学専攻	25
	●法学研究科 法律学専攻	30
	●文学研究科 英文学専攻	31
	●文学研究科 社会学専攻	32
	●文学研究科 人文学専攻	33
	●文学研究科 国際言語教育専攻	33
	●教育学研究科 教育学専攻	34
	●国際平和学研究科 国際平和学専攻	34
IV	博士前期／修士課程 <カリキュラム表・開講科目・担当教員一覧>	35
V.	奨学金制度について	38
VI.	その他	41

I <博士前期・修士課程> 入学試験概要

1. 募集研究科・専攻・募集定員

研究科	専攻	募集定員
		博士前期／修士課程
経済学研究科	経済学専攻	15名
法学研究科	法律学専攻	15名
文学研究科	英文学専攻	10名
	社会学専攻	10名
	人文学専攻	8名
	国際言語教育専攻	15名
教育学研究科	教育学専攻	15名
国際平和学研究科	国際平和学専攻	16名

※ 教育学専攻(博士前期課程)の募集定員は、教育学専修5名・臨床心理学専修10名となります。

※ 上記の募集定員は、学内選考(特別学内選考含む)・一般入試・外国人入試等のすべての入試制度における定員数を合計した人数です。

2. 入学試験日程

【博士前期／修士課程】＜2027年春学期（4月）入学入試日程＞

入試制度	対 象	出願期間	選考試験日	合格発表日	手続期間	
					第 1 次	第 2 次
学内選考	全研究科	2026年 4月1日(水) ～4月8日(水)	2026年 5月16日 (土)	2026年 5月22日 (金) 11:00	2026年 7月10日(金) ～7月17日(金)	2027年 2月22日(月) ～3月1日(月)
特別学内選考 (第Ⅰ期)	経済学研究科 法学研究科 文学研究科					
一般（第Ⅰ期）	全研究科	2026年 7月31日(金) ～9月15日(火)	2026年 11月7日 (土)	2026年 11月13日 (金) 11:00	2027年 2月22日(月) ～3月1日(月)	
特別学内選考 (第Ⅱ期)	経済学研究科 法学研究科 文学研究科					
一般（第Ⅱ期）	法学研究科 文学研究科 (国際言語教育専攻英語教育専修を除く) 教育学研究科	2026年 11月9日(月) ～12月7日(月)	2027年 2月6日 (土)	2027年 2月12日 (金) 11:00		
特別学内選考 (第Ⅲ期)	経済学研究科 法学研究科 文学研究科					

- ※ 文学研究科国際言語教育専攻英語教育専修は特別学内選考試験を実施していません。
- ※ 経済学研究科経済学専攻国際ビジネス専修は、秋学期（9月）入学入試のみの実施のため、春学期（4月）入学入試は、実施していません。
- ※ 文学研究科国際言語教育専攻英語教育専修、国際平和学研究科は、試験日1週間前までに大学より通知があった方のみ試験日に面接を実施します。
- ※ 通信教育課程の方は、特別学内選考試験を受験することができません。予めご了承ください。

【博士前期／修士課程】＜2027 年秋学期（9 月）入学入試日程＞

入試制度	対 象	出願期間	選考試験日	合格発表日	手続期間
一般入試	文学研究科 国際言語教育専攻	2026 年 11 月 9 日（月） ～12 月 7 日（月）	2027 年 2 月 6 日（土）	2027 年 2 月 12 日（金） 11:00	2027 年 7 月 9 日（金） ～7 月 16 日（金）
	経済学研究科 経済学専攻 国際ビジネス専修				

※文学研究科国際言語教育専攻英語教育専修および経済学研究科経済学専攻国際ビジネス専修は、試験日 1 週間前までに大学より通知があった方のみ試験日に面接を実施します。

3. 出願の流れ・方法

STEP1

WEB 出願システム The Admission Office (TAO) にアクセス

出願および出願書類の提出は、The Admission Office（以下、TAO）から行ってください。

[創価大学大学院 WEB 出願ページ \(TAO\)](#)

ユーザー登録等の利用方法の詳細については、以下マニュアルをご参照ください。

[TAO 利用マニュアル](#)



STEP2

出願書類の準備

各研究科によって必要な書類が一部異なります。詳細は「Ⅲ 学内選考・特別学内選考・一般入学試験【共通事項】博士前期／修士課程」をご確認ください。

STEP3

出願書類を TAO にアップロード

WEB 出願システム TAO より、必要な出願書類をアップロードしてください。出願書類の郵送は不要です。

成績証明書・卒業証明書は合格後に原本を提示または提出いただきます。

なお、推薦書が必要な入試は、TAO 上で第3者に推薦書の依頼をすることができます。

STEP4

検定料（33,000 円+決済手数料）のお支払い

Flywire (フライワイヤー)による検定料の支払いをお願いします。

日本国内からの支払いの場合、クレジットカードによる支払いのみ受付できます。

海外からの支払いの場合、滞在国によって利用できる決済手段が異なります。

- 決済手数料は Flywire 上で選択する決済手段によって金額が異なります。
- 決済手数料については、お手数ですがご負担をお願いします。



STEP5

受験票をダウンロード・印刷し、受験当日に持参

出願期間終了後、TAO 上に受験票が発行されますので、入試当日に印刷をしてお持ちください。

(オンライン面接のみの場合は、印刷不要)

- 問い合わせ先：創価大学 学事部学事第2課大学院係

TEL: 042-691-9423 Email: gsoffice@soka.ac.jp

- 窓口受付時間：平日午前9時30分～午後5時・土曜午前9時30分～12時

※12月下旬～1月上旬の冬季休業期間中は、窓口が閉まっていますのでご注意ください。

(休業日程の詳細はホームページ上でご確認ください)

4. 出願上の注意事項

- (1) 出願書類等に不備があるもの、及び出願期間を過ぎて提出されたものは、選考の対象とはしません。
- (2) 出願書類において虚偽の記載や偽造が発見された場合、次のような対応をとることがあります。
 - ・当該年度における本学入学試験の出願を不受理とする（入学検定料の返金は行わない）
 - ・当該年度における本学入学試験の結果を無効とする
- (3) 出願書類において虚偽の記載や偽造が発見された場合、ならびに試験において不正行為があったことを示す証拠が発見された場合には、合格後や入学後であっても遡って、合格・入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 受理された出願書類の記載事項についての変更及び、出願受理後の研究科・専攻の志望の変更は認めません。
- (5) 一度支払われた検定料は、原則として返還しません。
- (6) 提出された各種証明書等が、日本語または英語以外の言語で記載されている場合は、必ず日本語または英語の翻訳を添付すること。
(国際平和学研究科及び文学研究科国際言語教育専攻英語教育専修については、英語翻訳のみ受付を可能とする。日本語のみの書類についても、必ず英訳を添付すること)
- (7) 出願書類が受理されると、WEB 出願システム TAO 上にて、受験票が PDF 形式で発行されます。受験票は各自印刷の上、受験当日にお持ちください。
- (8) 成績証明書・卒業証明書の原本は、合格後に窓口へ提出または提示される必要があります。

※指導教員の決定について

開講科目・担当教員一覧に注印がついている教員、兼任の記載がある教員、客員教授・兼任講師は、指導教員にすることはできません（博士前期／修士課程、博士後期課程とも）

5. 試験会場

創価大学中央教育棟（東京都八王子市丹木町 1-236）

- 試験開始 20 分前までに指定された試験会場（フロア）に集合してください。
試験教室等の詳細は、現地に掲示します。
- オンライン面接の場合は 5 分前までに指定されたビデオ会議システムへのログインをお願いします。

6. 合格発表

合格については、合格発表日の午前 11 時に WEB 出願システム「The Admission Office (TAO)」にて発表いたします。

- ①国内在住の合格者には、「合格通知書・入学案内手続き」を発表日当日に限り、合格通知書及び、入学手続き書類を窓口でお渡しします。
- ②当日書類を受け取られなかった方については、翌営業日以降、当該書類をご自宅へ郵送します。
- ③海外在住の合格者には後日、メール等にて各種ご案内をお送りします。
- ④合格に関する、電話・メール・郵便等での問い合わせには一切応じません。

7. 入学手続（入学金・学費等）

合格者は、所定の期間内に入学手続・納入をしてください。ただし詳細については、合格発表後に文書等で通知します。入学手続は、2 回に分けて行います。（合格時期によっては 1 回のみ）

(1) 第 1 次入学手続（入学金の納入）

【博士前期／修士課程】

入学金 納入額	対 象 者
100,000 円	本学学部卒業者 本学別科修了者 本学通信教育部の卒業生 本学情報システム先端技術講座修了生
200,000 円	上記に該当しない方

(2026 年度実績)

(2) 第 2 次入学手続（学費等の納入及び入学手続書類の提出）

第 2 次手続書類は、第 1 次手続完了者に対して、2 月(秋学期入学は 7 月)に郵送します。ただし、一般入学試験(第Ⅱ期、Ⅲ期)、特別学内選考試験(1 月、2 月実施)の合格者については、第 1 次手続と同時にあります。

<春学期(4 月)入学第 2 次手続期間納入金額>

【博士前期／修士課程】

項 目	一括払い	2 回分割払い	
	入学手続時 (年間学費)	入学手続時 (半年分学費)	秋学期納入時 (半年分学費)
授 業 料	650,000 円	325,000 円	325,000 円
合 計	650,000 円	325,000 円	325,000 円

(2026 年度学費実績)

【臨床心理学専修のみ】 <春学期（4月）入学第2次手続期間納入金額>

項 目	一括払い	2回分割払い	
	入学手続時 (年間学費)	入学手続時 (半年分学費)	秋学期納入時 (半年分学費)
授 業 料	640,000 円	320,000 円	320,000 円
実 習 費	110,000 円	55,000 円	55,000 円
合 計	750,000 円	375,000 円	375,000 円

※臨床心理学専修の学費は、「実習費」が加算されます。

(2026年度学費実績)

<秋学期（9月）入学第2次手続期間納入金額>

【修士課程】

項 目	入学手続時 (半年分学費)
授 業 料	325,000 円
合 計	325,000 円

(2026年度学費実績)

【入学手続きにおける共通の注意事項】

- ① 納入期間内に手続を行わない場合は、合格を取り消します。
- ② 授業料等は、手続期間内に必ず完納してください。
 - ・ 春学期入学の場合の納入回数は、1回払い（入学手続時に年間学費の一括納入）又は、2回分割払い（春学期半年分・秋学期半年分の分割納入）が選択できます。
 - ・ 秋学期入学の場合の納入回数は、半年分の学費の1回払いのみです。
- ③ 入学手続後、事情により入学を辞退する場合があっても納入された入学金は返還しません。事情により入学を辞退する場合は、入学金を除く授業料等を返還します。但し、入学式の前日までに届け出のあった場合に限りです。
- ④ 合格者は、日本学生支援機構予約奨学生に出願することができます（留学生と ss1 月以降実施の入学試験合格者は除く）。

【経費支弁について（外国籍を保有する留学生のみ）】

(1) 経費支弁の基準

外国籍を保有する留学生については、出願に際して預金残高証明書または奨学金給付証明書で証明する金額は1年間分の生活費（月額10万円程度）及び学費とし、**日本円で概ね185万円以上**を基準とします。

なお、創価大学大学院留学生奨学金のスカラシップ選考への出願を同時に行う場合は、預金残高証明書等で証明する金額が**185万円未満**でも出願を認めます。ただし、留学ビザ取得手続き（在留資格認定証明書交付申請または在留期間更新手続き）の際、法務省（出入国在留管理庁）において日本滞在に必要な経費支弁に関する審査が行われ、その結果、COE不交付または在留期間更新が不許可となった場合は本学への入学が許可されませんので注意してください。

(2) 経費支弁者になれる方

経費支弁者とは、本学在学中の学費や生活費について責任をもって支払う人をいいます。経費支弁者は一定の収入または預貯金がある両親または親族（居住国は問いません）とすることが一般的ですが、出願者本人に留学費用を支弁する十分な預貯金がある場合は自分を経費支弁者とすることもできます。また、複数人が経費支弁者になることも可能です。

親族などに経費支弁者となる方が見つからない場合など、やむを得ない事情がある場合は、友人・知人を経費支弁者とすることもできますが、この場合は経費支弁同意書に経費支弁を引き受けた経緯と理由を詳細に記入して提出してください。ただし、友人・知人から将来返済を前提とした留学費用の貸与を受ける場合は経費支弁者とすることはできません。また、友人・知人を主たる経費支弁者とする場合は、COEの審査がより厳しく行われることがありますので、注意してください。

(3) 経費支弁書の作成方法

出願の際に提出する経費支弁書については、以下の要領により経費支弁の裏付けとなる書類を添付してください。経費支弁者が複数人いる場合や奨学金と併用する場合は、すべての預金残高証明書と奨学金給付額（年額）の合計が185万円以上（スカラシップ選考へ申し込む場合は185万円未満でも可）であることを示すこと。

- ① 本人が経費を支弁する場合:
 - 本人名義の預金残高証明書
- ② 本人以外が経費を支弁する場合（日本国内居住者を含む）
 - 経費支弁同意書（所定の用紙に経費支弁者が署名したもの）
 - 支弁者名義の預金残高証明書
 - 在職証明書
 - 年収証明書
 - 志願者本人との関係を証明する書類（戸籍謄本、住民票、親族公証書等）
- ③ 奨学金で支弁する場合（創価大学牧口記念教育基金会留学生奨学金は含まない）
 - 奨学金給付額、給付期間、給付期間が明記された奨学金給付証明書

II-1 <入学試験制度> 博士前期／修士課程：学内選考試験

学内選考試験は、全研究科（経済学研究科、法学研究科、文学研究科、教育学研究科、国際平和学研究科）を対象として実施しています。

1. 出願資格

- (1) 本学学生（外国人学生を含む）で、2026年度卒業見込の者。
- (2) 本学通信教育課程の学生で、2026年度卒業見込の者。
- (3) 2026年度に本学学部研究生に登録中の者。

2. その他

出願書類、選考試験科目等については、「III 学内選考・特別学内選考・一般入学試験【共通事項】博士前期／修士課程」を参照してください。

II-2 <入学試験制度> 博士前期／修士課程：特別学内選考試験

経済学研究科（国際ビジネス専修を除く）、法学研究科、文学研究科（国際言語教育専攻英語教育専修を除く）の修士課程・博士前期課程では、それぞれ特別学内選考試験を実施しています。詳細は以下の通りです。

1. 出願資格

《経済学研究科》（国際ビジネス専修を除く）

本学経済学部・経営学部に在籍している学生（通信教育課程を除く）で、大学院に入学するにふさわしい能力と研究意欲を有する者のうち、下記の要件を満たす者。

- * 学部での学業成績が、G P A 3.40 以上（2018 年度以前入学生は GPA3.80 以上）で、2027 年 3 月に卒業見込の者。ただし、2026 年 9 月に卒業する者については出願を許可する。

《法学研究科》

本学法学部に在籍している学生（通信教育課程を除く）で、大学院に入学するにふさわしい能力と研究意欲を有する者のうち、下記の 2 つの要件を共に満たす者。

- * 3 年次生に担当された演習の担当教員の推薦を受けた者。ただし、担当教員の推薦を受けることができない特段の事情があるときは、学部長の推薦を受けた者。
- * 学部での学業成績が、G P A 3.20 以上（2018 年度以前入学生は GPA4.00 以上）で、または、税理士試験科目を 1 科目以上合格した者で、2027 年 3 月に卒業見込の者。ただし、2026 年 9 月に卒業する者については出願を許可する。

《文学研究科》（国際言語教育専攻英語教育専修を除く）

本学文学部に在籍している学生（通信教育課程を除く）で、大学院に入学するにふさわしい能力と研究意欲を有する者のうち、下記の 2 つの要件を共に満たす者。

- * 3 年次生に担当された演習の担当教員の推薦を受けた者。ただし、担当教員の推薦を受けることができない特段の事情があるときは、学部長の推薦を受けた者。
- * 学部での学業成績が、G P A 3.50 以上（2018 年度以前入学生は GPA3.80 以上）で、2027 年 3 月に卒業見込みの者。ただし、2026 年 9 月に卒業する者については出願を許可する。

2. 選考試験内容

《経済学研究科》（国際ビジネス専修を除く）

試験方法	面接（経済学または経営学に関する基礎知識を問う）
試験時間	15:00～（受験者1人につき10分程度）
選考方法	面接試験及び書類審査の結果を総合判断して合否を決定する

《法学研究科》

試験方法	面接（法学または政治学に関する基礎知識を問う）
試験時間	14:30～（受験者1人につき10分程度）
選考方法	面接試験及び書類審査の結果を総合判断して合否を決定する

《文学研究科》（国際言語教育専攻英語教育専修を除く）

試験方法	面接 （希望する専攻・専修に関する基礎知識及び研究計画内容を問う）
試験時間	15:00～（受験者1人につき15分程度）
選考方法	面接試験及び書類審査の結果を総合判断して合否を決定する

II-3 <入学試験制度> 博士前期／修士課程：一般入学試験

1. 出願資格

本学大学院への出願には、以下のいずれかの出願資格を満たす必要があります。

- (1) 大学を卒業した者、または 2026 年度卒業見込みの者（秋学期入試出願者は、2027 年 8 月末までに卒業見込みの者）。
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者。
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了または 2026 年度修了見込みの者（秋学期入試出願者は、2027 年 8 月末までに修了見込みの者）。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者。
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
- (7) 文部科学大臣の指定した者。
- (8) 大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、当該研究科委員会において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。
- (9) 当該研究科委員会において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027 年 3 月で 22 歳に達した者。

※出願ができる外国人受験者の定義について

- ① 日本国籍を有しない者であって、かつ、日本国における永住資格を有しない者。
- ② 出入国管理及び難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格を有する者。
- ③ 中国 3 年制大学の学位は、本学大学院の出願資格としては認められない。

2. 出願資格認定申請について

上記の出願資格(4)～(9)により出願しようとする者は、以下の通り**事前に**出願資格審査を行います。

(1) 出願資格認定申請期間

入試区分	出願資格認定申請期間	審査結果通知時期
一般入試第Ⅰ期（春入学）	2026年5月1日～5月31日	2026年7月上旬
一般入試第Ⅱ期（春入学）	2026年9月1日～9月30日	2026年11月上旬
一般入試（秋入学）		

(2) 申請書類

- (a) 出願資格認定申請書（所定用紙：G票）
- (b) 出願資格認定申請理由書（所定用紙：H票）
- (c) 最終学校の成績証明書（写し）

[申請書類作成時の注意事項]

中国3年制大学の学位は、本学大学院の出願資格としては認められませんので、出願資格審査の対象外となります。

出願資格認定申請書および理由書には、学習歴、研究歴、実務経験、研究業績を含めて、大学を卒業した者と同等以上の学力があると考えられる理由を記述してください。なお、研究歴、研究業績に関する参考資料があれば添付してください。

(3) 提出方法

上記書類の申請書類(a)～(c)のPDFファイルを以下のフォームよりアップロードしてください。

【出願資格審査申請フォーム】 <https://forms.gle/jb7f2vox3ChTjTKMA>

(4) 審査方法：書類審査および学力審査

学力審査に当たっては、必要に応じて口述試験を行う場合があります。実施については、対象者に追ってお知らせいたします。

(5) 資格審査の通知

審査結果は上記日程表に記載の通り、本人に通知します。

出願資格「有」の認定を受けた者は、次頁以降の要綱に従い、出願してください。

Ⅲ 学内選考・特別学内選考・一般入学試験 【共通事項】 博士前期／ 修士課程

1. 出願書類

- ※ 出願書類は全てウェブ出願システム The Admission Office(TAO)を経由して提出してください。個別メール等での提出は受付できかねます。
- ※ 本学所定の出願書類については、文系大学院ホームページ「文系大学院 入試情報」→「出願書類」からダウンロードしてください。

種類	出願書類及び注意事項
A	顔写真のデータ * 最近3ヶ月以内に撮影した顔写真で、3cm×4cm 上半身・無帽・無背景のもの。カラー可。 * WEB 出願システム TAO 上で登録すること。
B-1	出身大学の成績証明書の写し * 全学年にわたるもの。出身大学で申請すること。
B-2	出身大学院の成績証明書の写し（該当者のみ） * 大学卒業後、大学院へ進学した者のみ。
C-1	出身大学の卒業証明書、または卒業見込証明書の写し * 出身大学で申請すること。学士の証明を含むこと。 * 卒業見込証明書を提出した者は、卒業後すみやかに卒業証明書を提出すること。（卒業証明書が発行されない場合は「C-3 学位記の写し」を提出すること）
C-2	出身大学院の修了証明書、修了見込証明書、または在学証明書の写し（該当者のみ） * 大学卒業後、大学院へ進学した者のみ。 * 修了証明書が発行されない場合は「C-3 学位記の写し」を提出すること
C-3	学位記の写し * 学位記を取得したことを証明するもの。卒業/修了証明書に明記されている場合は、改めて提出する必要はない。また、学士号取得を証明するものがない場合は、出身大学の学長等による大学院への進学資格を証明する書類を提出すること。
D	志望理由書および入学後の研究計画 * 本学所定の用紙（D 票）を使用すること。 * 国際言語教育専攻英語教育専修及び国際平和学研究科については、指定された書式でテーマに応じたエッセイを作成すること（詳細は p.17～p.21 を参照）

E	<p>推薦書（該当者のみ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別学内選考に出願する者（E-1 票） 1 通 ・ 文学研究科国際言語教育専攻英語教育専修に出願する者（E-2 票） 2 通 ・ 国際平和学研究科に出願する者（E-3 票） 2 通 <p>上記に該当する者は、本学所定の用紙を使用して推薦書の作成を推薦者に依頼すること。推薦書提出の手順は、以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 受験者は推薦者のメールアドレスを WEB 出願システム TAO 上に登録する ② 推薦者に推薦状提出フォームがメールで自動配信される ③ 推薦者は届いたメールに記載されたリンクにアクセスし、TAO のアカウントを作成後、受験者の推薦書（PDF ファイル）をアップロードする
F	<p>英語/日本語能力証明書類（該当者のみ）</p> <p>* 以下の研究科・専攻・専修に出願する者は、外国語の筆記試験を実施しない代わりに、所定の英語/日本語能力証明書類を提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済学研究科 ・ 文学研究科国際言語教育専攻英語教育専修（TESOL） ・ 国際平和学研究科 <p>* 各専攻・専修の英語能力証明の要件については、次頁以降を確認すること。</p> <p>* なお、出願時より 2 年以内に TOEFL iBT 及び IELTS を受験したことがある場合、実施機関を通じて本学に直接スコアを提出することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ TOEFL iBT：ETS ウェブサイトにて大学コード「B413」を選択してください。 ■ IELTS：IELTS 試験実施機関に問い合わせの上、大学名「Soka University Graduate School」宛にスコアを提出するようご依頼ください。 ■ Duolingo English Test (DET)：経済学研究科経済学専攻国際ビジネス専修および国際平和学研究科のみ利用可能。
J	<p>経費支弁書（外国籍を保有する留学生のみ）</p> <p>外国籍を保有する留学生については、本学大学院在学中における学費・生活費の支弁方法について WEB 出願システム TAO 上に必要事項を入力してください。また、経費支弁の裏付けとなる書類のスキャンコピーをウェブ出願ページ上にアップロードしてください。</p> <p>詳しくは「経費支弁について」を参照してください</p>
その他 証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学日本語別科修了生・在学生については、日本語別科修了証明書もしくは別科修了見込証明書の写しを提出すること。 * 該当者は入学金の一部が免除されますので、必ず出願時に提出してください。提出がない場合は免除対象となりません。 ・ 法学研究科の「法曹の資格を現に有する者（司法試験に合格して司法修習を修了していない者を含む）」の適用を希望する者は、資格を証明する書類を提出すること。

2. 検定料: 33,000 円+決済手数料

ウェブ出願ページ上にて出願時にお支払いください。支払い時に発生する手数料は各自の負担となります。(金額は決済手段により異なります)

3. 経済学専攻・国際言語教育専攻・国際平和学専攻における出願時必須事項

【経済学研究科経済学専攻出願者へ】※必須事項

経済学研究科の入学試験では、出願書類の「志望理由及び入学後の研究計画」(D 票)が評価の対象となります。以下の項目を入れて記載してください。

①志望理由 ②研究テーマ ③研究の背景 ④研究の方法

経済学研究科の外国語試験は、英語(日本語)能力証明書類によって行われます。経済学研究科を志望する者は、出願時にこれらの書類の写しを提出してください。

【経済学専修・経営学専修】

TOEFL-iBT61+、TOEFL-PBT500+、TOEIC670+、TOEIC-IP 670+、IELTS5.5+以上の英語能力を有していることを証明できる書類(コピー可)の提出を出願条件とする。

英語を母語とする受験者は「高校・大学の卒業証明書」「英語で教育が実施されたことが記載された証明書」を提出することによって、上記の英語能力証明書類の提出が免除される。

日本国以外の国籍を有する受験者は、日本語能力証明書(日本語能力試験N2レベル以上の合格証明書)の写しを提出すること。

特別学内選考試験の受験者については、面接試験のみの実施となるため、英語能力証明書類の提出は不要とする。

【国際ビジネス専修】

国際ビジネス専修は、TOEFL-iBT80+、IELTS6.0+、または Duolingo105+以上の英語能力を有していることを出願条件とする。

英語を母語とする場合も英語能力証明書類の提出は必須とする。

Duolingo のスコアを提出する場合、必ず試験実施機関のウェブサイトから本学に直接スコアを提出してください。その際、「Soka University -Graduate School of Economics-」を指定し、提出してください。

国際ビジネス専修の志願者は、GRE®または GMAT®のスコア結果(有効期限 5 年以内)を提出することが推奨されます。上記のスコア結果を出願書類と併せて提出することにより、基礎学力が審査されます

※上記スコア結果を提出しない場合、面接時に基礎学力の審査が実施されます。

【国際言語教育専攻 英語教育専修出願者へ】※必須事項

● 出願書類の作成について

出願書類はすべて英語で作成してください。

D 票（英語エッセイ）については、出願者本人が作成した英語エッセイを出願書類として添付してください。テーマおよび作成要件は以下のとおりです。

- テーマ：How does this program help you achieve your overall professional goals as a language educator?
- 分量：A4 サイズ、英語 1,000 words 以内、ダブルスペース（行間 2 行）

● 推薦書（2 通）

所定のフォーマットを以下のウェブページよりダウンロードし、作成してください。

https://www.soka.ac.jp/en/admissions/application/graduate_policy/admission_process_bunkai/guideline_forms/grad-let-tesol

※ 詳細は次頁参照。

● 英語能力証明書類について

以下のいずれかの英語能力証明書類（取得後 2 年以内のもの）を出願書類として提出してください（コピー可）。

- TOEFL iBT
- IELTS

英語を母語とする方で英語能力証明書類を提出できない場合、以下 1) ~4) の条件をすべて満たす場合に限り、TOEFL iBT または IELTS のスコア提出が免除される場合があります。

- 1) 幼少期から英語を習得していること
- 2) 日常生活において英語を主たる言語として使用していること
- 3) 英語運用能力が他のどの言語よりも優れていること
- 4) 文法、語彙、発音に加え、社会言語学的にも十分な能力を保持していること

* 英語能力証明書類の免除を希望する場合

英語能力証明書類の提出免除を希望する方は、以下の書類を提出してください。

- (1) 英語で教育を受けたことが明示されている高校および／または大学の卒業証明書

※卒業証明書に英語で教育が行われた旨の記載がない場合は、英語による中等・高等教育を受けたことを証明する追加書類（証明書または公式レター）が必要です。

- (2) 上記条件 2) ~4) に関連し、日常的・個人的・職業的な英語使用状況を記載した任意書面

提出された書類をもとに、書類審査時に英語能力証明書類の免除可否を審査します。

International Language Education Program: TESOL - Personal Statement

Please provide a personal statement describing your educational objectives. The personal statement gives you the opportunity to explain your reasons for pursuing graduate study and to express your thoughts clearly in an organized and focused way.

Please answer the following question regarding the Graduate Program in International Language Education: TESOL:

***How does this program help you achieve
your overall professional goals as a language educator?***

You may wish to address:

- Why you are applying for the International Language Education (ILE) program;
- how the ILE program will relate to your long-range career objectives;
- what personal or “non-academic” qualities you will contribute to the learning environment in this program;
- what your research interests in language education may be; and / or,
- what personal experiences have influenced your intellectual development and future goals with respect to the ILE program.

The personal statement should:

- include your name and a title;
- not exceed 1,000 words; and
- be typed double spaced (Times New Roman 12) on A4-sized paper.

Please carefully revise and edit your statement as all qualities of good writing including organization, structure, grammar, and spelling will be considered.

International Language Education Program: TESOL – Letters of Recommendation

Two letters of Recommendation (using the form provided by the university)

- Two letters of recommendation are requested of each applicant. These two letters should be provided by those able to attest to the applicant’s:
 - Abilities to successfully complete a rigorous graduate degree in an international context (delivered in an English-medium format).
 - Potential as a future language educator.

- Each letter of Recommendation should:
 - include the contact information (email, address and telephone number) of the referee;
 - be completed on the form provided (additional pages can be included by the referee on official institutional letterhead);
 - be uploaded by your recommender via [the TAO platform](#).

- TAO allows you to request and submit references to your referees online.
 - Please register the email addresses of your referees on the TAO platform.
 - The recommendation letter submission form will be automatically sent to referees by email.

The referees need to access the link in the email received and create a TAO account. Then, your referees can upload the applicant's recommendation form in PDF format.

International Language Education Program: TESOL – Interview

Some applicants may be contacted for an interview. Interview requests will be sent one week prior to the requested interview date.

If an applicant is contacted for an interview, the interviews will be held on the Soka University campus in Hachioji, Tokyo, in the Global Square Building, on the specified dates above.

- Soka University administration will notify the applicant of the specific interview time.
- Applicants should plan to arrive a minimum of 20 minutes before their scheduled interview.
- Interview rooms will be announced at the entrance lobby of the Global Square on the interview day.

Applicants living abroad can be interviewed via online technologies. In the case of interviews for applicants living abroad:

- Applicants will be contacted via email prior to the interview in order to organize necessary information such as a video conferencing system (details will be provided)
- It is the sole responsibility of the applicant to ensure that suitable technology is available in their country of residence to perform the interview.
- Video interviews are required in order to verify applicant identity.
- Scheduling of the interview time will be at the discretion of the ILE faculty, but every reasonable effort will be made to take into account time zone differences.

【国際平和学研究科 国際平和学専攻出願者へ】※必須事項

- 出願書類の作成について
出願書類はすべて英語で作成してください。
D 票（英語エッセイ）については、出願者本人が作成したエッセイを出願書類として添付してください。テーマおよび作成要件は以下のとおりです。
 - テーマ：How does this program help you achieve your overall professional goals?
 - 分量：A4 サイズ、英語 1,000 words 以内、ダブルスペース（行間 2 行）
※詳細は次頁にある英語版の案内を参照してください。

 - 推薦書（Letters of Recommendation：2 通）
所定のフォーマットを以下のウェブページからダウンロードし、作成してください。
https://www.soka.ac.jp/en/admissions/application/graduate_policy/admission_process_bunkei/guideline_forms/grad-let-p
※詳細は次頁にある英語版の案内を参照してください。

 - 英語能力証明書類について
以下のいずれかの英語能力証明書類（取得後 2 年以内のもの）を出願書類として提出してください（コピー可）。英語を母語とする場合も、英語能力証明書類の提出は必須とします。
 - TOEFL iBT
 - IELTS
 - Duolingo English Test (DET)
- * Duolingo English Test を提出する場合
試験実施機関のウェブサイトから本学へ直接スコアを提出してください。
その際、提出先として“Soka University – Graduate School of International Peace Studies”を指定してください。

School of International Peace Studies - Personal Statement

Please provide a personal statement describing your educational objectives. The personal statement gives you the opportunity to explain your reasons for pursuing graduate study and to express your thoughts clearly in an organized and focused way.

Please answer the following question regarding the School of International Peace Studies:

How does this program help you achieve your overall professional goals?

You may wish to address:

- Why you are applying for the Graduate School of International Peace Studies;
- How the School of International Peace Studies will relate to your long-range career objectives;
- What personal or “non-academic” qualities you will contribute to the learning environment in this program;
- What your research interests in International Peace Studies may be; and / or,
- What personal experiences have influenced your intellectual development and future goals with respect to the School of International Peace Studies.

The personal statement should:

- include your name and a title;
- not exceed 1,000 words; and
- be typed double spaced (Times New Roman 12) on A4-sized paper.

Please carefully revise and edit your statement as all qualities of good writing including organization, structure, grammar, and spelling will be considered.

School of International Peace Studies – Letters of Recommendation

Two letters of Recommendation (using the form provided by the university)

- Two letters of recommendation are requested of each applicant. These two letters should be provided by those able to attest to the applicant’s:
 - Abilities to successfully complete a rigorous graduate degree in an international context (delivered in an English-medium format).
 - Potential as a future language educator.
- Each letter of Recommendation should:
 - include the contact information (email, address and telephone number) of the referee;
 - be completed on the form provided (additional pages can be included by the referee on official institutional letterhead);
 - be uploaded by your recommender via [the TAO platform](#).
- TAO allows you to request and submit references to your referees online.
 - Please register the email addresses of your referees on the TAO platform.
 - The recommendation letter submission form will be automatically sent to referees by email.

The referees need to access the link in the email received and create a TAO account. Then, your referees can upload the applicant's recommendation form in PDF format.

School of International Peace Studies – Interview

Some applicants may be contacted for an interview. Interview requests will be sent one week prior to the requested interview date.

If an applicant is contacted for an interview, the applicant is asked to choose one from the two options:

1. Taking interview on the Soka University campus in Hachioji, Tokyo, on the specified dates above.

- Soka University administration will notify the applicant of the specific interview time.
- Applicants should plan to arrive a minimum of 20 minutes before their scheduled interview.
- Interview rooms will be announced at the entrance lobby of the Global Square Building on the interview day.

2. Taking interview via online technologies, on the specified dates above.

- It is the sole responsibility of the applicant to ensure that suitable technology is available in their country of residence to perform the interview.
- Video interviews are required in order to verify applicant identity.
- Scheduling the interview time will be at the discretion of the interviewers, but every reasonable effort will be made to take into account time zone differences.

4. 選考試験科目・時間帯

●経済学研究科 経済学専攻

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
経済学専修	外国語	—	書類審査（英語能力証明書類）	—
	専門科目	出願時に 2科目選択	ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学・ 統計学、経済数学、経済史、開発経済学。 上記から2科目選択した科目で4題出題(各科目 2題)して3題必答。	13:00～ 14:30
	面接	—	面接	15:00～
経営学専修	外国語	—	書類審査（英語能力証明書類）	—
	専門科目	出願時に 2科目選択	経営史、金融論、財務管理論、経営戦略論、人 的資源管理論、会計学（財務会計、管理会計）、 経営情報。 上記から2科目選択した科目で4題出題(各科目 2題)して3題必答。	13:00～ 14:30
	面接	—	面接	15:00～
国際ビジネス専修	書類審査	—	成績証明書、英語能力証明書類、研究計画	—
	面接	—	面接（※英語で実施します。） 面接では、志望理由や基礎学力等について確 認します。	15:30～

※ 「特別学内選考試験」の出願者は、面接試験のみを行う。

※ 専門科目の出題範囲（テキストや項目）は別掲参照。

※ 国際ビジネス専修は、秋学期（9月）入学入試のみ実施。面接は英語で実施します。

◆ 経済学研究科 専門科目 出題範囲

経済学専修

ミクロ経済学

【参考テキスト】

芦谷政浩『ミクロ経済学』有斐閣、2009年、
武隈愼一『新版 ミクロ経済学』新世社、2016年

【主要な出題項目】

需要と供給 消費者行動 企業行動 競争均衡 独占 寡占 外部性と公共財 情報の経済学
ゲーム理論 顕示選好

マクロ経済学

【参考テキスト】

1. グレゴリー・マンキュー『マクロ経済学Ⅰ 第4版』東洋経済新報社 2017年
2. グレゴリー・マンキュー『マクロ経済学Ⅱ 第4版』東洋経済新報社 2018年
3. 齊藤 誠、岩本 康志、太田 聰一、柴田 章久『マクロ経済学 新版』有斐閣 2016年
4. 二神 孝一、堀 敬一『マクロ経済学 第2版』有斐閣 2017年

【主要な出題項目】

国民所得会計 物価指数 消費関数 投資関数 貨幣需要 絶対的流動性選好（流動性の罫）モデル 長期均衡 乗数理論 IS-LM 理論 総需要曲線 総供給曲線 インフレ需要曲線 インフレ供給曲線 マンデル＝フレミング理論 成長会計 ソロー成長モデル 実物景気循環理論 自然失業率 ベバリッジ(UV)曲線

計量経済学・統計学

【参考テキスト】

統計学 森棟公夫・他『統計学（改訂版）』有斐閣
計量経済学 山本拓・竹内明香『入門計量経済学』新世社

【主要な出題項目】

データの整理 確率 確率変数とその分布 母数の推定 仮説検定 単回帰 重回帰 最小2乗法 ガウス＝マルコフの定理 系列相関 不均一分散

経済数学

【参考テキスト】

A.C.チャン, K.ウエインライト 『現代経済学の数学基礎』第4版上・下, シーエービー出版, 2020年

【主要な出題項目】

集合と関数 連続関数 関数とグラフ ベクトル 行列 行列式 連立一次方程式の解法 固有値と固有ベクトル 微分 偏微分 逆関数の定理と陰関数の定理 極大・極小とラグランジュ未定乗数法 積分 多変数関数の積分 広義積分 線形常微分方程式

経済史

<西洋経済史>

【参考テキスト】

ロンド キャメロン, ラリー・ニール『概説 世界経済史』I, II, 東洋経済新報社, 2013年

【主要な出題項目】

経済史と経済発展、中世ヨーロッパにおける経済発展、ヨーロッパにおける第2の成長局面、経済的ナショナリズムと帝国主義、近代工業の夜明け、19世紀の経済発展：基本的決定要因、発展のパターン：先発工業国家、発展のパターン：後発工業国家と予期に反して工業化しない国々、戦略的経済部門、世界経済の成長、20世紀世界経済の概観、国際経済の崩壊

<日本経済史>

【参考テキスト】

杉山伸也『日本経済史』（岩波書店、2012年）

沢井実・谷本雅之『日本経済史』（有斐閣、2016年）

【主要な出題項目】

徳川時代の日本経済 「産業革命」と「在来的経済発展」 戦間期の日本経済 高度経済成長

開発経済学

【参考テキスト】

トダロ=スミス著『トダロとスミスの開発経済学(原著第10判)』（2010年）ピアソン桐原発行

【主要な出題項目】

開発とは何を意味するのか（第1章） 開発途上国の特徴（第2章） 購買力平価レート（第2章） 人間開発指標（HDI）（第2章） 開発の差異が生じた長期的原因（第2章） ロストウの成長段階論（第3章） ハロッド=ドーマーの成長モデル（第3章） ルイスの2部門モデル（第3章） 貧困ギャップ指数（第3章） 貧困層の経済的特性（第5章） 人口移動と都市化のジレンマ（第7章） ハリス=トダロの人口移動モデル（第7章） 輸入代替工業化戦略とその結果（第12章） 輸出志向工業化戦略（第12章） BOP ビジネス（テキスト外）

経営学専修

経営管理論

【参考テキスト】

芦澤成光・日高定昭 編著『現代経営管理論の基礎』学文社 2007年

井原久光『テキスト経営学 基礎から最新の理論まで 第3版』ミネルヴァ書房、2008年

【主要な出題範囲】

経営管理論の歴史、科学的管理論、フォード・システムとフォーディズム、古典的管理論、組織構造設計と事業部制組織、人間関係論、行動科学的管理論、近代（意思決定論）的管理論（バーナード、サイモン等）、コンティンジェンシー理論、企業文化論、CSR、ステークホルダー論

経営史

【参考テキスト】

宮本又郎・阿部武司・宇田川勝・沢井実・橘川武郎『日本経営史』有斐閣 2007年

宮本又郎・岡部桂史・平野恭平『1からの経営史』碩学舎 2014年

【主要な出題項目】

日本型企業経営の起源（江戸時代の企業経営） 近代経営の形成（明治前期・中期の企業経営）、近代経営の展開（昭和後期から昭和初年の企業経営）、戦前から戦後へ 経済成長と日本型企業経営（高度成長期から21世紀初頭までの企業経営）

金融論

【参考テキスト】

内田浩史（2016）『金融』有斐閣

大村敬一（2016）『ファイナンス論』有斐閣

【主要な出題範囲】

金融の機能、金融システム、金融市場、金融機関、金融商品価格、コーポレートファイナンス、インベストメント、リスク管理と保険、金融政策、国際金融

財務管理論

【参考テキスト】

井手正介・高橋文郎『経営財務入門<改訂版>』日本経済新聞出版 2003年

榊原茂樹・菊池誠一・新井富雄・太田浩司『新版 現代の財務管理』有斐閣 2011年

【主要な出題範囲】

最適資本構成、配当政策、自社株取得、資金調達(エクイティ・ファイナンス、デット・ファイナンス)、資本コストとレバレッジ、株式会社構造、企業の合併・買収(M&A)、ストックオプション、株主価値経営、コーポレート・ガバナンス、法人化と株式持合い

経営戦略論

【参考テキスト】

伊丹敬之／加護野忠男『ゼミナール経営学入門』日本経済新聞出版社

網倉久永・新宅純二郎『マネジメント・テキスト経営戦略入門』日本経済新聞出版 2011

【主要な出題範囲】

全社戦略(多角化、垂直統合、M&A)、事業戦略(コストリーダーシップ、差別化、ニッチ)、持続的競争優位性、提携戦略、アウトソーシング戦略、イノベーション戦略、CSR・CSV 戦略、ポジショニングスクールとリソース・ベースド・ビュー理論、経営戦略論の歴史

ビジネス・エコノミクス

【参考テキスト】

丸山雅祥（著）『経営の経済学（第3版）』有斐閣 2017年

伊藤元重（著）『ビジネス・エコノミクス（第2版）』日本経済新聞社 2021年

【主要な出題範囲】

消費者行動 生産者行動 市場均衡 ゲーム理論の基礎 不完全競争市場 不確実性と情報の非対称性
外部性と公共財

人的資源管理論

【参考テキスト】

マネジメント検定試験公式テキスト2級 マネジメント実践〈1〉日本経営協会【編】
中央経済社；中央経済グループパブ〔発売〕 2023/03 発行

第2部 人的資源管理(人的資源管理の原則；人事制度と雇用管理；労務管理と労使関係；人と組織
に関するマネジメント理論)

【主要な出題範囲】

戦略的人的資源管理 雇用管理(採用・配置・異動・退職) 雇用責任 心理的契約 人事評価と昇進・
昇格(職能資格制度を含む) リーダーシップとモチベーション 組織市民行動 人的資源開発職場
の健康と安全 国際人事 国際労働基準

会計学

【参考テキスト】

平岡秀福著『現代の会計と財務諸表分析』創成社, 2005年.
門田安弘編著『セミナー管理会計』税務経理協会, 2016年.

【主要な出題範囲】

<財務会計>

企業会計原則と企業会計基準、資産の会計、収益と費用の認識・測定、キャッシュフロー計算書、
外貨建取引等会計、連結財務諸表

<管理会計>

経営戦略支援の管理会計: 事業価値の測定と管理、セグメント会計(M&A会計、社外分社とグル
ープ経営含む)、バランスト・スコアカードマネジメントコントロールの管理会計: 構造的個別計
画(投資の経済性分析)と業務的個別計画(特殊原価概念含む)、社内分社(事業部・カンパニー)の分
権的利益管理と資金管理(中長期・短期総合計画)、予算管理と原価管理(原価企画と原価改善
ABC/ABM)

経営情報

【参考テキスト】

東京大学教養学部統計学教室 編『統計学入門』東京大学出版会 1991年
山口 和紀 編『情報 第2版』東京大学出版会 2017年

【主要な出題範囲】

基礎統計(記述統計、確率と確率分布、中心極限定理、標本分布、点推定と区間推定、仮説検定、
カイ2乗検定、回帰分析)、情報基礎(コンピュータの仕組み、情報の表現、情報システム、情報
と社会)

●法学研究科 法律学専攻

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
—	専門科目	出願時に 1科目選択	<p>●法学（総論）（試験範囲は以下の通り）</p> <p>①法の特質・機能 ②法秩序の構造 ③法源 ④法律学の任務と特質 ⑤裁判と法の適用 ⑥法の解釈 ⑦法と道徳 ⑧法と正義 ⑨法と効力 ⑩権利と義務</p> <p>●政治学（試験範囲は以下の通り）</p> <p>①政治学原論 ②政治学史（近代政治思想史） ③政治史（近代ヨーロッパ政治史） ④国際政治論</p> <p>※政治学は上記①～④の各領域からそれぞれ1問出題するので、その4問の中から1問を選択、解答する。</p>	13:00～ 14:00
	面接	—	面接	14:30～

※「特別学内選考試験」の出願者は、面接試験のみを行う。

※「法曹資格を現に有する者の特別措置（司法試験に合格して司法修習を修了していない者を含む）」の対象者は、筆記試験を免除する。

●文学研究科 英文学専攻

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
英語英米文学 専修	外国語	—	英語	10:30～ 12:00
	専門科目	①・②とも 出願時に 選択	以下の①～②全てを解答する。 ① 専門的な英語問題（イギリス文学、アメリカ文学、英語学のうちから1科目選択） ② イギリス文学、アメリカ文学、英語学のうちから1科目選択	13:00～ 14:30
	面接	—	面接	15:00～

※ 次の成績または資格所持者については、出願時の申請により外国語の「英語」を免除することができる。（証明書のコピーをアップロードすること）

- ・ TOEFL iBT80 点以上
- ・ TOEIC 730 点以上
- ・ IELTS 6.0 以上
- ・ 実用英語技能検定（日本英語検定協会）準1級以上合格
- ・ 国際連合公用語検定・英語検定試験 A 級以上合格

※ WEB 出願システム（TAO）による出願時に、専門科目①・②をそれぞれ選択すること（専門科目①・②の両方で、同じ科目を選択することも可能です）

※ 専門科目①・②の出題範囲

イギリス文学、アメリカ文学：作家論、作品論を含む英米文学史
英語学：英語史、英文法、英語音声学

※ 事前に、文系大学院係（入試担当）を通じて、自分の興味・研究テーマに近い分野の教員と連絡を取ること。

●文学研究科 社会学専攻

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
グローバル・スタディーズ専修	外国語	出願時に選択	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語のうちから1言語を選択。(辞書使用不可)	10:30～ 12:00
	専門科目		以下の①②を解答する。 ①共通問題 ②選択問題(受験者の研究希望分野を考慮して出題する)	13:00～ 14:30
	面接	—	面接	15:00～

※ 外国人には、外国語の試験を課さない。

※ 社会人には、外国語の試験を課さない。(社会人の定義：出願の段階で、4年生大学卒業後満4年以上経過している人)

【社会学専攻出題参考図書】

下記の文献は、社会学専攻をめざす場合の必読書である。文献 a. は専攻全体で共通かつ基本となる。原著は英語レベルの基準となる。b. 以下は各専門領域の基本となる。

- a. アンソニー・ギデنز『社会学』第5版、而立書房、2009年(Anthony Giddens, Sociology, 5th edition, Polity Press, 2006)。
- b. 大梶俊夫他著『社会学のプロフィール』八千代出版、1997年。
- c. 園田恭一・西村昌記編著『ソーシャル・インクルージョンの社会福祉』ミネルヴァ書房、2008年。
- d. 羽場久美子他編『21世紀国際社会への招待』有斐閣ブックス、2003年。
- e. 棚次正和・山中弘編著『宗教学入門』ミネルヴァ書房、2005年。
- f. 栗生沢猛夫『図説ロシアの歴史』河出書房新社、2010年。

●文学研究科 人文学専攻

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
哲学歴史学 専修	外国語	出願時に選択	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語のうちから1言語を選択。(辞書使用不可)	10:30~ 12:00
日本文学 日本語学専修	専門科目	出願時に入学後の専修を選択	以下の①②を解答する。 ①共通問題 ②選択問題(受験者の研究希望分野を考慮して出題する)	13:00~ 14:30
仏教学専修	面接	—	面接	15:00~

※ 外国人には、外国語の試験を課さない。

※ 社会人には、外国語の試験を課さない。(社会人の定義：出願の段階で、4年生大学卒業後満4年以上経過している人)

●文学研究科 国際言語教育専攻

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
日本語教育 専修	外国語	出願時に 選択	日本語を母語とする者は英語、中国語、ハンガール、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語のうちから1言語選択 日本語を母語としない者は日本語 (辞書使用不可)	10:30~ 12:00
	専門科目	—	日本語学・日本語教育に関する問題	13:00~ 14:30
	面接	—	面接	15:30~
英語教育専修	書類審査	—	エッセイ・英語能力証明書類・推薦書 ※面接を行うことがある。その場合は、試験日1週間前までに通知する。	—

●教育学研究科 教育学専攻

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
教育学専修	外国語	—	英語（辞書を貸与する）	10：30～ 12：00
	専門科目	—	教育学	13：00～ 14：30
	面接	—	面接	15：00～
臨床心理学 専修	外国語	—	英語（辞書を貸与する）	10：30～ 12：00
	専門科目	—	臨床・発達・教育心理学	13：00～ 14：30
	面接	—	面接	15：30～

※ 外国人には、外国語の試験を課さない。

※ 臨床心理学専修を受験する者は、学部の時に心理学系の科目を履修しておくことが望ましい。

※ 教育学専修を受験する社会人には外国語の試験を課さない。（社会人の定義：出願の段階で、4年生大学卒業後満4年以上経過している人）

臨床心理学専修を受験する社会人には、外国語を課さない。（社会人の定義：出願の段階で、4年生大学卒業後満5年以上経過している人。ただし、卒業後5年未満であっても、27歳以上で職歴が5年以上ある人が、所定の出願書類に加えて、下記の書類を提出した場合、書類審査の後に「社会人」として認める場合がある）

[出願資格認定申請書](G票)

[出願資格認定申請理由書](H票)

●国際平和学研究科 国際平和学専攻

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
—	書類審査	—	エッセイ・推薦書・成績証明書 ※面接を行うことがある。その場合は、試験日 1週間前までに通知する。	—

IV 博士前期／修士課程 <カリキュラム表・開講科目・担当教員一覧>

以下、各研究科専攻のホームページからカリキュラム表・開講科目・担当教員一覧を確認することができます。

	経済学研究科 経済学専攻	
種別	カリキュラム表・開講科目	担当教員

QRコード



URL

<https://www.soka.ac.jp/grad-let/major/economics/curriculum/view/>

<https://www.soka.ac.jp/grad-let/major/economics/faculty-profile/>

	法学研究科 法律学専攻	
種別	カリキュラム表・開講科目	担当教員

QRコード



URL

<https://www.soka.ac.jp/grad-let/major/law/curriculum/view/>

<https://www.soka.ac.jp/grad-legal/faculty-profile/>

	文学研究科 英文学専攻	
種別	カリキュラム表・開講科目	担当教員

QRコード



URL

<https://www.soka.ac.jp/grad-let/major/letters/english/curriculum/view/>

<https://www.soka.ac.jp/grad-literature/english/#faculty-profile>

文学研究科 社会学専攻

種別

カリキュラム表・開講科目

担当教員

QRコード



URL

<https://www.soka.ac.jp/grad-let/major/letters/sociology/curriculum/view/>

<https://www.soka.ac.jp/grad-literature/sociology/#faculty-profile>

文学研究科 人文学専攻

種別

カリキュラム表・開講科目

担当教員

QRコード



URL

<https://www.soka.ac.jp/grad-let/major/letters/humane/curriculum/view/>

<https://www.soka.ac.jp/grad-literature/humane/#faculty-profile>

文学研究科 国際言語教育専攻

種別

カリキュラム表・開講科目

担当教員

QRコード



URL

<https://www.soka.ac.jp/grad-literature/inter/>

<https://www.soka.ac.jp/grad-literature/inter/#faculty-profile>

教育学研究科 教育学専攻

種別

カリキュラム表・開講科目

担当教員

QRコード



URL

<https://www.soka.ac.jp/grad-education/curriculum/>

<https://www.soka.ac.jp/grad-education/faculty-profile/>

国際平和学研究科 国際平和学専攻

種別

カリキュラム表・開講科目

担当教員

QRコード



URL

<https://www.soka.ac.jp/en/academics/graduate/grad-ips/curriculum/info/>

<https://www.soka.ac.jp/en/academics/graduate/grad-ips/faculty-profile/>

V. 奨学金制度について

1. 日本学生支援機構奨学金

《出願資格》

人物・学業成績ともに特に優れ、かつ健康であって、大学院において研究を継続するには、日本学生支援機構の奨学金の貸与が必要であると認められる者に限ります。

なお、標準（最短）修業年限を超えて在学する者及び留学生は出願資格がありません。

《奨学金の概要》

種 類		貸与月額	貸与 始期	貸与期間
博士前期／ 修士課程	第一種 (無利子)	50,000 円、88,000 円	4 月	2 年間
	第二種 (有利子)	5 万・8 万・10 万・13 万・15 万から選択		

(2024 年度参考)

※第一種について、日本学生支援機構授業料後払い制度の利用が可能です。

詳細は以下の URL をご確認ください。

<https://sokauniversity.box.com/v/jasso-atobarai-2026>

2. 創価大学牧口記念教育基金会大学院生奨学金【給付型】について

本学の文系・理系大学院が、建学の精神に立脚した優れた研究者と高度専門職業人等の輩出によって人類社会により一層貢献することを目的に、本学大学院生で、人物、学業成績ともに優秀であると認められる者に奨学金が給付される。

《出願資格》

人物、学業成績ともに優秀で、本学大学院博士課程または修士課程に所属する大学院生とする。（学内の他の給付奨学金採用者は、対象から除く）

《給付額》

奨学金の給付は入学時 1 回限りとし、春セメスターに 20 万円を一括給付する。

《選考基準》

当該年度春セメスターの入学生と、前年度秋セメスターの入学生のなかで、入試成績が優秀であったものを、研究科・専攻・課程別の採用数に従って選考する。

3. 創価大学大学院留学生奨学金（スカラシップ選考）について

本奨学金は、創価大学大学院に進学する外国人留学生を対象とした返済不要の給付型奨学金です。指定された入試を受験し、合格された方を対象に選考を行い、奨学金を付与します。

(1) 応募資格

以下の2つの要件をすべて満たす方

1. 本学大学院入試（経済学研究科・法学研究科・文学研究科・教育学研究科・国際平和学研究科）への受験資格を満たしている外国人留学生で、外国籍（日本国籍以外）を有する方
2. 本給付奨学金受給対象者の選抜（以下、スカラシップ選考という）を実施する入学試験の受験者

(2) 採用人数及び給付金額

支給金額（経済学・法学・文学・教育学・国際平和学）

博士前期・修士課程

年間 50 万円

(3) 支給期間・時期

- 給付期間は標準修業年限以内とし、博士前期課程は2年間給付します。
- 奨学金は大学院に入学後、所定の手続きを経た上で春学期（6月）、秋学期（11月）の2回に分けて給付します。
- 入学手続き時に支払う費用（入学金、学費）には充当できませんのでご注意ください。
- **本奨学金は他団体奨学金との併用は可とします。ただし、国費留学生など他の奨学金の中には本奨学金との併用を認めないものもありますので、当該団体に確認してください。また、本奨学金と学内の他の給付奨学金を併用することはできません。**

(4) 申請および選考方法

スカラシップ選考を実施する各大学院入試において、成績優秀な合格者から順に選抜します。

スカラシップ選考を実施する大学院入試の受験者は、対象となる入試の出願時にWEB出願システム（TAO）内でスカラシップ選考の希望有無を選択することができます。選考を希望する受験者は必ず「スカラシップ選考を希望する」を選択し、必要な情報を提出してください。

研究科によって、スカラシップ選考を実施する入試は異なります。必ず事前に確認してください。

●スカラシップ選考を行う文系大学院入試

博士課程前期/修士課程 (M) 春入学入試 (4月入学)					
研究科名	専攻・専修	スカラシップ選考を実施する入試	選考日		
経済学研究科	経済学専攻 経済学専修	一般入試Ⅰ期	2026年11月7日		
	経済学専攻 経営学専修				
法学研究科	法律学専攻				
文学研究科	英文学専攻				
	社会学専攻				
	人文学専攻				
	国際言語教育専攻 日本語教育専修				
	国際言語教育専攻 英語教育専修				
教育学研究科	教育学専攻 教育学専修			外国人入試 (春入学)	2026年11月7日
	教育学専攻 臨床心理学専修			一般入試Ⅰ期	2026年11月7日
国際平和学研究科	国際平和学専攻	学内選考試験	2026年5月16日		
		一般入試Ⅰ期	2026年11月7日		

博士課程前期/修士課程 (M) 秋入学入試 (9月入学)			
研究科名	専攻・専修	スカラシップ選考を実施する入試	選考日
経済学研究科	経済学専攻 国際ビジネス専修	外国人入試 (秋入学)	2027年2月6日
文学研究科	国際言語教育専攻 日本語教育専修	一般入試 (秋入学)	
	国際言語教育専攻 英語教育専修		

【備考】

- ・ 特別学内選考試験および、一般入試第Ⅱ期ではスカラシップ選考を実施しません。
- ・ その他、スカラシップ選考の詳細については、下記のホームページよりご確認ください。

●[創価大学大学院留学生奨学金 \(給付奨学金\) 受給対象者の選抜について](#)

VI. その他

1. 教育職員免許状

大学において、一種免許状の所要資格を有する者が、博士前期課程を修了し、所定の単位を修得した場合、申請により専修免許状を取得することができます。

《免許状の種類と教科》

研究科	専攻・専修	免許状の種類と教科
文学研究科	英文学専攻	中学校教諭専修免許状 英語 高等学校教諭専修免許状 英語
	国際言語教育専攻 日本語教育専修	中学校教諭専修免許状 国語 高等学校教諭専修免許状 国語
	国際言語教育専攻 英語教育専修	中学校教諭専修免許状 英語 高等学校教諭専修免許状 英語

2. 既修得単位の認定及び在学期間の短縮について

入学前に他大学院等で修得した単位は、研究科委員会において教育研究上有益と認められた場合、15単位を超えない範囲で当該研究科の修了単位数に加えることができます。また、博士前期課程及び修士課程においては、その認定単位数及びその修得に要した期間等を勘案して、1年間を上限に在学期間を短縮できる場合があります。詳細は、入学後大学院係までお問い合わせください。

3. 在留資格認定証明書の申請とビザの取得について

入学を許可された外国籍の者は原則として在留資格「留学」の取得が必要です。入学手続きの際に在留資格取得、入国および滞在に関する手続きをすることになります。

日本に新規に入国するために留学ビザを取得する場合は、ビザ手続きに必要な「在留資格認定証明書 (COE)」の交付申請を大学が代理で申請を行います。入学手続きの際に「在留資格認定証明書交付のための書類」(申請書、パスポートのコピー、規格を満たす顔写真)を提出してください。

※注意事項※

- ・「在留資格認定証明書」についての許可は日本国政府が定める基準に基づき法務省が行うものです。同証明書が不交付となった場合は本学への入学が許可されませんので、注意してください。
- ・審査の過程で出入国在留管理局より追加の証明書等の提出を求められることがあります。この場合は、大学から連絡しますので、指示された書類を速やかに提出してください。